

满铁全史



[满铁全史 下载链接1](#)

著者:加藤 聖文

出版者:講談社

出版时间:2019-7-12

装帧:

isbn:9784065162729

明治40年（1907）、「10万の生靈と20億の戦費」といわれる犠牲を払って獲得した

南満洲の地に誕生した一鉄道会社は、「陽に鉄道経営の仮面を装い、陰に百般の施設を実行する」実質的な国家機関として大陸政策を牽引した。しかし必然的に政官軍の繩張り争いと対中・対ソ事情の変化、そして場当たり的な政策の影響が直撃する位置に置かれた組織は、図らずも近代日本を体現する存在として日本の支配政策のお粗末さを象徴する存在として現代に伝えられている。

日露戦争から敗戦まで「日本の生命線」の表舞台に立ち続けた組織の足取りを正確にたどり、「国策」という言葉が包含する曖昧さと無責任さを炙り出す。年表、首脳陣人事一覧、会社組織一覧付き。（原本：講談社選書メチエ、2006年刊）

作者紹介：

著：加藤 聖文（カトウ キヨフミ）

1966年愛知県生まれ。早稲田大学社会科学部卒業後、証券会社勤務を経て、早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程修了。専門は日本近現代史、歴史記録（アーカイブズ）学。人間文化研究機構国文学研究資料館准教授。主な著書に『「大日本帝国」崩壊—東アジアの1945年』（中公新書）、『満蒙開拓団—虚妄の「日満一体」』（岩波現代全書）、『国民国家と戦争 挫折の日本近代史』（角川選書）、『近代日本と満鉄』『枢密院の研究』（ともに共著、吉川弘文館）など。

目录：プロローグ——「国策会社」満鉄とは何だったのか

第一章 国策会社満鉄の誕生

第二章 「国策」をめぐる相克

第三章 使命の終わりと新たな「国策」

終章 国策会社満鉄と戦後日本

エピローグ——現代日本にとっての満鉄

関連年表

歴代満鉄首脳陣人事一覧

南満洲鉄道株式会社組織一覧

・・・・・ (收起)

[満鉄全史 下载链接1](#)

标签

满铁

满洲

日本东洋学

铁路

评论

[满铁全史 下载链接1](#)

书评

[满铁全史 下载链接1](#)